

自転車の安全で適正な利用に関連した取組について

(1) 学校における取組について

① 文部科学省の位置づけ

平成21年に学校保健法が改正され、「学校保健安全法」が施行された。
その27条には、「学校安全計画」はすべての学校が策定し、実施することが義務付けられている。
学校安全計画は、安全教育、安全管理、組織活動についての年間計画である。
学校安全には、生活安全（防犯を含む）、交通安全、災害安全（防災）の3領域がある。
安全教育では、「安全学習」と「安全指導」を通して、安全に関する知識を習得し、それらの知識に基づいて的確に判断し、迅速な行動をとることができる力を身に付けることが必要とされる。
安全学習は、関連教科等で実施し、安全指導は、学級活動や学校行事、日常の指導等で行う。

② 児童生徒の発達段階に応じた交通安全教育

【小学校での主な取組例】

- 交通安全教室（警察、交通安全協会、スクールガード、企業等の協力を得て実施。）
 - ・低学年では、正しい道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの指導。
 - ・中学年では、自転車シュミュレーターを活用した映像による道路上での自転車の走行指導。
 - ・高学年では、校庭に設置したコース利用した自転車に乗り正しい自転車指導や自転車の技能と交通ルール等の知識の検定試験を実施し、合格者に警察署長より「自転車免許証の交付」。
- 地域安全マップの作成（通学路の危険個所を確認後、地域安全マップを作成。）
- クラブ活動（「自転車クラブ」で交通安全協会主催の「交通安全子供自転車大会」に出場。）

【中学校の主な取組例】

- 交通安全教室（警察、交通安全協会、企業等の協力を得て実施。）
 - ・新1年生を対象に、交通ルール徹底や自転車保険とヘルメットの重要性等の指導。
 - ・スタントマンが実際に交通事故を再現することで生徒自身が危険を体感できる「スケアードストレイト手法の交通安全教室」の開催。
- 交通安全に関わる生徒会の取組
 - ・生徒会による交通安全集会を開催し、交通ルールを再確認。
 - ・自転車通学可能区域の見直し「No(ノ)自転車Day」を実施し、全校生徒が徒歩で登下校。生徒を対象にアンケート調査を実施し、調査結果をもとに通学路危険個所のマップ作成。
- 自転車の点検（PTA活動の一環として、夏季休業前に自転車業者等の協力を得て実施。）

【高等学校の主な取組例】

- 交通安全教室（警察、交通安全協会、企業等の協力を得て実施。）
 - ・新1年生を対象に、交通ルール徹底や自転車保険とヘルメットの重要性等の指導。
 - ・今年度、県立高等学校の一校でスタントマンが実際に交通事故を再現することで生徒自身が危険を体感できる「スケアードストレイト手法の交通安全教室」の開催を予定。
- 交通安全に関わる生徒会の取組
 - ・警察署の呼びかけにより高校生ボランティアHSL（ハイスクール・セイフティ・リーダー）を発足し、生徒会執行部を中心にメンバーを募り、警察署長より委嘱を受けて、駅前や学校において交通安全啓発運動を実施

③ 教職員の資質向上を図るための講習会等の充実

○「滋賀県交通安全教室指導者講習会」を開催（文部科学省委任事業）

・開催日：平成27年6月2日 ・対象者：各学校の安全主任等 約400名

・内容：講義「県内の交通事故の発生状況と改正道路交通法について」県警交通企画課
講演「自転車ルールと事故防止～自転車の危険行為14項目の指導について」

一般社団法人 日本交通安全教育普及協会

④ 交通事故防止と管理・指導体制の確立

○通学路の安全点検、危険個所の整備

○通学用自転車の点検整備の徹底

○校内研修の充実と交通安全指導体制の確立

⑤ 家庭や地域と連携した交通安全指導

○「各市町のスクールガード・リーダーによるスクールガードや保護者への講習会」の開催

○小学校に対する「交通安全子供自転車大会」への参加要請

⑥ 県教委と市町教委、関係機関と連携した取組の推進

○今年度、県域の「子どもの安全確保に関する連絡協議会」を設置し、市町教育委員会、国立、私立学校の代表者と関係機関が一堂に会し、各市町の現状と課題、対策の具体的な取組の情報交換、必要事項について協議を行うなど、県域で連携した子どもの安全対策の取組を推進。

(2) 生涯スポーツの取組について

① 自転車駐輪備品の設置（サイクルスタンドの設置）

○観光ブランド「ピワイチ」事業において、ロードバイクを使って琵琶湖一周サイクリングをする人が増えている実情をうけ、バイクラックと呼ばれる備品を貸出し、駐輪スペース（サイクルスタンド）を確保することにより、サイクリングを行う人の利便性の向上が図れるようにする。

・（5ヶ所）

（ローソン西浅井塩津浜店、マクドナルドびわ湖大橋店、マクドナルドびわ湖阪本店、マクドナルド柳が崎店、マクドナルド大津玉野浦店）

② 県立社会体育施設の活用（ランニングステーションの設置）

○一部の県立社会体育施設を「ランニングステーション」として指定し、ランニング、ウォーキング、サイクリングを行う人にとって利便性の向上が図れ、快適に楽しめるよう活動を支援する。

・（5施設）

（県立スポーツ会館、県立体育館、県立彦根総合運動場、県立琵琶湖漕艇場、県立長浜ドーム）

(3) 学校・地域等を支援する取組について

① しが学校支援センターの運営

○学校教育活動において、企業・団体等が提供する専門的な知識や技能を活かした学習支援メニューを取り入れるため、企業等と学校間のコーディネートを行い、連携授業を推進

・メニュー：交通安全教室の実施 HP 掲載数4メニュー

(JAF、佐川急便、ヤマト運輸、滋賀県交通安全協会)

・実績：平成26年度 21回、児童生徒数 4,255人

② 出前講座メニューの提供等

○公民館や自治会などにおける生涯学習活動を支援するため、企業、団体等が地域に出向き実施する「出前講座」のメニューの提供や視聴覚教材を貸出

・メニュー：自転車の正しい乗り方に関する講座 HP 掲載数1メニュー(滋賀県交通安全協会)

・実績：平成26年度 22回、受講者3,600名

平成 27 年度予算の概要

(1) 学校における取組について

項目	当初予算 (千円)	事業概要
学校における 安全管理・安全教育の推進事業	163	県内の幼稚園長、小・中・県立学校長を対象とした「学校の危機管理トップセミナーセミナー」を開催。 (年1回)
文部科学省委託事業 地域ぐるみの 学校安全体制整備推進事業	4,446	スクールガード・リーダーによる巡回指導やスクールガード養成講習会の開催等。
文部科学省委託事業 防災教育を中心とした実践的 安全教育総合支援事業	4,104	「スクエアドストレイト手法の交通安全教室」等の開催。(県立高校一校)
計	8,713	

(2) 生涯スポーツの取組について

項目	当初予算 (千円)	事業概要
ピワイチジョギング ・サイクルツーリング支援事業	104	ジョギングやサイクリングを行う人に県立社会体育施設の設備を利用できるようにするとともに、自転車を駐輪するための備品を県内各所に設置する。
計	104	

(3) 学校・地域等を支援する取組について

項目	当初予算 (千円)	事業概要
「しが学校支援センター」運営事業	3,179	学校支援ディレクターを配置し、地域の人材や企業・団体等と学校間をコーディネートを行い連携事業を推進 など
「しが生涯学習スクエア」の運営	987	生涯学習の総合的な窓口として、県民の主体的な学習を支援(視聴覚教材や機材の貸出等)する「しが生涯学習スクエア」を運営 など
計	4,166	